

JIS

眼鏡光学－眼鏡フレーム－ 寸法測定方式及び用語

JIS B 7281 : 2024

(FOIA/JSA)

令和 6 年 10 月 21 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 水 孝太郎	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	清 家 剛	東京大学
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	一般社団法人日本計量機器工業連合会
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立大学法人信州大学
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 2.2.1 改正：令和 6.10.21

官 報 掲 載 日：令和 6.10.21

原 案 作 成 者：福井県眼鏡工業組合

(〒916-0042 福井県鯖江市新横江 2-3-4 めがね会館 TEL 0778-51-1724)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 寸法測定方式	11
附属書 A (参考) 眼鏡フレームの 3 次元測定	12
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	16
解 説	17

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、福井県眼鏡工業組合（FOIA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 7281:2003** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

眼鏡光学—眼鏡フレーム—寸法測定方式及び用語

Ophthalmic optics—Spectacle frames—Measuring system and vocabulary

序文

この規格は、2020年に第4版として発行されたISO 8624を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、眼鏡フレームの寸法測定方式及び用語について規定し、対称的に設計される眼鏡フレームに適用する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 8624:2020, Ophthalmic optics—Spectacle frames—Measuring system and vocabulary (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

この規格には、引用規格はない。

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1 ボックスレンズ方式の主な用語¹⁾

注¹⁾ この箇条は、眼鏡フレームの三つの重要な寸法（玉形幅、レンズ間距離及びテンプル長さ）を含む。これらの寸法許容差は、JIS B 7285で規定されている。

3.1.1

ボックスレンズ方式 (boxed lens system)

左右の玉形上端の接線は共通で水平に接するものとみなし、眼鏡フロントの寸法を決定するために、玉形を取り囲む長方形を基礎とするフレームの寸法測定方式

注釈 1 フロント角の大きい眼鏡フレームでは、左右の玉形の上端部に接する直線は水平とみなす。

注釈 2 レンズ口径の測定は、玉形中心での玉形面に接しているとみなされる長方形ボックスの面に投